

大問1の問題例(イメージ)

～文章の主題を読み取る問題～

- (1) 次の文章は主に何について書かれているでしょう。最も適切なものを、下の中から1つ選びましょう。

学校には多くのパソコンやタブレット、プロジェクターなどの ICT 機器がある。これらを適切に管理するため、定期的な動作確認やソフトウェアの更新が行われている。故障時の修理対応や、使用状況の記録、セキュリティ対策も重要なこととして、丁寧に行われている。授業で安定して ICT 機器を活用できる環境づくりはとても大切である。

- 学校におけるセキュリティ対策の重要性
- 学校の ICT 機器の管理方法
- 学校にある ICT 機器の使い方

- (2) 次の文章は主に何について書かれているでしょう。最も適切なものを、下の中から1つ選びましょう。

校庭にあるイチョウやサクラの木を一年間観察する活動をした。春には新芽が出て花が咲き、夏には葉が茂って濃い緑色になった。秋には葉が黄色や赤に色づき、冬には葉が落ちて枝だけになった。同じ木を継続して観察することで、季節による植物の変化を実感でき、自然のサイクルを学ぶことができた。

- イチョウとサクラの木にそれぞれ見られる特徴
- 校庭の樹木観察で学ぶ自然のサイクル
- 樹木観察を通じて学べる季節の特徴

～主語と述語の関係を正しく読み取る問題～

(3) 次の文章と合うものとして最も適切なものを、下の中から1つ選びましょう。

太陽光発電パネルは、太陽の光エネルギーを電気エネルギーに変える装置である。パネルの内部には、シリコンという物質でできた半導体が使われている。半導体に光が当たると、電子が動き出して電流が流れる。太陽光発電は二酸化炭素を出さないため、クリーンなエネルギー源として注目されている。

- 半導体に光が当たると電子が動いて電流が流れ、太陽の光エネルギーが電気エネルギーに変わる。
- 太陽光発電パネルは二酸化炭素を電気エネルギーに変えるクリーンな装置として注目されている。
- シリコンでできた半導体は、太陽光発電パネルによって光エネルギーに変えられる。

(4) 次の文章と合うものとして最も適切なものを、下の中から1つ選びましょう。

フェアトレードとは、発展途上国の生産者から適正な価格で商品を買取る貿易の仕組みである。コーヒーやカカオなどの生産者は、中間業者に安く買いたたかれて苦しい生活を強いられることがある。フェアトレードは、そうした生産者の生活を守り、持続可能な生産を支える役割を果たしている。消費者が認証マークのついた商品を選ぶことで、この仕組みに参加できる。

- 発展途上国の生産者は、フェアトレードによって中間業者から適正な価格で商品を買取ってもらえる。
- 消費者は、認証マークのついた商品を選ぶことで、発展途上国の生産者の生活を守る仕組みに参加できる。
- コーヒーやカカオの生産者は、持続可能な生産を支えるために中間業者に安く売っている。

～事柄の因果関係を正しく読み取る問題～

(5) 次の文章と合うものとして最も適切なものを、下の中から1つ選びましょう。

物体を水に入れると、その物体が押しあげた水の重さ分だけ上向きの力を受ける。この力を浮力という。重い鉄製の船でも水に浮くことができるのは、船は鉄でできているが、内部に大きな空間があるため全体の密度は水より小さいからである。船底の形を工夫することで、より大きな浮力を得ることができる。

- 内部に大きな空間があることで、船全体の密度が水より大きくなるため、重い鉄製の船でも水に浮くことができる。
- 船全体の密度が水より小さいため、重い鉄製の船でも水に浮くことができる。
- 船全体の密度が水より大きいため、船底の形を工夫することで、より大きな浮力を得ることができる。

(6) 次の文章と合うものとして最も適切なものを、下の中から1つ選びましょう。

運動をすると、脳内でエンドルフィンという物質が分泌される。エンドルフィンは痛みを和らげ、幸福感をもたらす働きがある。また、運動によって血流が良くなり、脳に酸素が十分に供給される。このため、運動後は気分が爽快になり、ストレスも軽減される。ランニングやウォーキングでも効果がある。

- 運動をするとエンドルフィンが分泌され、脳に酸素が供給されるので、気分が爽快になる。
- 運動をすると気分が爽快になるので、エンドルフィンが分泌され、ストレスも軽減される。
- 運動をすると血流が良くなり、脳に酸素が十分に供給されるので、エンドルフィンという物質が分泌される。

大問2の問題例(イメージ)

郷土の偉人について調べている西田さんは、道後温泉を全国的に有名にした人物といわれている伊佐庭如矢の伝記を読みました。

今から百二十年も昔に、将来、観光の時代が来ることを見ぬいた人物がいました。道後湯之町の初代町長、伊佐庭如矢です。①如矢は、郷土を愛する心と情熱で、強く反対する町民を説得し、ごうかな道後温泉本館を建て、いで湯の町として全国に知られる道後の土台を築きました。

一八九〇(明治二十三年)年に町長になった如矢は、温泉のすべての建物の改築を計画しました。当時の道後温泉の建物はせまく、そのうえ、とても古くなっていました。また、関西から汽船が乗り入れるようになり、入浴客が急に増えていきました。

如矢は、まず、それまで無料だった「養生湯」という温泉を改築することと、改築のための資金をかせぐために、養生湯を有料化することを提案しました。

養生湯の利用者は、おへんろさんや町民です。たちまち反対の声が上がりました。しかし、如矢は、代わりにいらなくなった材木を使った無料の温泉や、病気の治りようをする人向けの温泉を造り、町民たちを納得させました。

次に、本館「神の湯」の改築に取りかかりました。工事にかかる費用は、全部で十三万五千円あまり。

当時の小学校の先生の初めての給料が、約八円の時代です。常識をはるかにこえた、ばく大な費用に、町民はおどろきました。反対運動が激しくなり、如矢の命をねらう者さえ現れました。

しかし、如矢はひるみませんでした。

「道後に、世間の目を向けさせるためには、本館の改築が必要だ。」

と、町民をねばり強く説得しました。

その、道後の将来を見通した考えと熱意に、最初は反対していた人々も心を打たれ、一転して資金を提供するようになりました。如矢も、全財産をなげうちました。そして、旧松山藩おかえの大工・坂本又八郎をとうりようにむかえ、二十か月の工事期間をかけて、ついに長さ十八メートル、はば六・四メートル、三階建ての立派な建物を完成させました。



現在の道後温泉本館

如矢は、②客の足の確保も忘れませんでした。道後鉄道株式会社を設立し、道後につながる鉄道を走らせて、客を温泉へ運びました。また、周辺には公園を整備し、のちに坊っちゃん団子となる「湯ざらし団子」も発案しました。如矢の先を見通す力のおかげで、百二十年後の今も、道後の町は栄えています。

※おへんろさん：四国八十八か所をまわる人のこと。
※とうりよう：ある集団(ここでは大工)の長。



道後温泉本館にある如矢の像

一 下線部①「如矢は、郷土を愛する心と……」の文が、文章全体の中で果たす役割について考えます。次の□に当てはまる言葉として最も適切なものを、あとの中から一つ選びましょう。

新聞の前文(リード)のように、□。

○ これから述べる内容の要点を、はじめに簡潔にまとめて示している

○ 筆者の意見とは反対の立場を、具体例を挙げて詳しく説明している

○ 道後温泉本館の建築方法を、順序に沿って細かく説明している

○ 読者に問いかけて、意見を考えさせるための問題提起をしている

二 下線部②「客の足」と同じ意味で「足」という言葉を使っている文を、次の中から一つ選びましょう。

○ デパートのショーウィンドーの前で足を止める。

○ この村では、人々の足としてロバが使われている。

○ 二十キロ歩行に参加して、足が棒になる。

○ たくさんの荷物が届き、足のふみ場もない。

大問3の問題例(イメージ)

(1) 目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして必要な情報を見つける問題

【資料3】

今、あなたは「勉強がとてでもできる」という言い方を変えたとは思わないでしょう。「とてでも」は「非常に」の意味を表します。ところが、100年ほど前の大正時代、作家の芥川龍之介は、「とてでも安い」「とてでも寒い」という言い方は新しいと書いています。それより前の時代には、「とてでもかなわない」「とてでもまもらない」のように、「とてでもらない」の形で言ったのです。

【資料4】

年代	雨が降りそうな様子 (%)	小雨が降ったりやんだりしている様子 (%)
16-19さい	50.4	31.9
20代	43.5	42.9
30代	53.7	34.1
40代	53.9	33.4
50代	61.2	26.1
60代	52.6	33.6
70さい以上	46.2	39.8

(文化庁『令和4年度国語に関する世論調査』による。)

【資料2】

「あらた」は、大昔から使われていました。ところが、次の平安時代には「あらたし」と「あら」の順番が入れかわっています。つまり、「あらたし」に比べれば、「あらたらし」は新しい形です。それが変化して今では「あららしい」になりました。

【資料1】

言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的であると考えられていた言葉の形や意味が、現代においては通用しなくなっていたり、使い方が変わっていきたりする場合は少なくありません。

【資料3】

「あらたらし」は新しい形

「できたばかり、まだ古くない」という意味で、私たちは「新しい」と言います。でも、大昔の奈良時代には、「あらたし」と言っていました。今でも、「新しく」という意味で「あらたに」と言っています。「あらた」は、大昔から使われていました。ところが、次の平安時代には「あらたし」と「あら」の順番が入れかわっています。つまり、「あらたし」に比べれば、「あらたらし」は新しい形です。それが変化して今では「あららしい」になりました。

【3】 木村さんの学校では、言葉の変化について学ぶために、みんなで「資料1」を読みました。そして、「資料1」を読んで一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことをもとに考えをまとめることにしました。「資料1」をよく読んであとの問いに答えましょう。

(注)紙面の関係で資料1～4は一部分のみ掲載している。

「R7 全国学力・学習状況調査(小学校国語)より」

(2) 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題

【ちらし】(更新版②)

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいの出来です。今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

第一小学校6年生のみなさんへ

(注)紙面の関係で資料は一部分のみ掲載している。

【工夫】

A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。

【感想の一部】

ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。

イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。

「R7 全国学力・学習状況調査(中学校国語)より」